

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：科学論 ILAS Seminar :Philosophy and History of Science			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授 青山 拓央		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2024・前期	受講定員 (1回生定員)	10 (10) 人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	水5	教室	教育院棟演習室21			使用言語	日本語
キーワード	分析哲学 / 科学哲学						
(総合人間学部の学生は、全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。)							
[授業の概要・目的]							
哲学と科学に興味があり、かつ、文章を読みながら「議論する」ことについて深く学びたい学生に向けて、ディスカッション中心の授業を行ないます(単位取得には積極的な発言が必要です)。 教員の準備した文献(科学哲学や分析哲学に関わる文献を中心に選定)をクラス全体で精読するほか、各回の担当者を選定し、担当者による司会進行のもと、ディスカッションを実施します。過去に使用した文献としては、森田邦久著『科学哲学講義』からの抜粋など。							
[到達目標]							
配布した資料の読解を通じて文章精読の技術を学ぶとともに、哲学的・科学的観点から新たな知見を獲得する。							
[授業計画と内容]							
第1回：授業についてのガイダンスを行ない、履修希望者多数の場合は、ゼミナール形式であることをふまえ受講制限を行なう。 第2回：教員による司会進行と解説のもと、クラス全体でのディスカッションを行なう。 第3回～第14回：各回の担当者による司会進行のもと、クラス全体でのディスカッションを行なう。適宜、教員による解説を挟む。 第15回：フィードバック							
[履修要件]							
特になし							
[成績評価の方法・観点]							
各回の授業におけるディスカッションへの参加度と、担当者としての発言内容をもとに、成績評価を行なう。(詳細は講義のガイダンスにて説明します。)							
[教科書]							
使用しない 必要に応じて、プリントを配布します。							
[参考書等]							
(参考書) 授業中に紹介する							
[授業外学修(予習・復習)等]							
各回のディスカッション内容を振り返ることで、自分の担当回ではどのように司会進行を行なうかを考えておく。							
[その他(オフィスアワー等)]							
連絡方法等については教員のウェブサイトを参照してください。活発な議論への参加を期待します。							